

三重県の文化施設の概要

本県では、文化施設として「三重県総合文化センター」、「県立美術館」、「県立博物館」及び「斎宮歴史博物館」を設置しており、それぞれの概要は次のとおりです。

1 三重県総合文化センター

総合文化センターは、①文化会館、②生涯学習センター、③県立図書館、④男女共同参画センター「フレンテみえ」、によって構成される複合型文化施設です。

設置年：平成6年

所在地：津市一身田上津部田（津駅西口からバスで約5分）

運営主体：指定管理者（（公財）三重県文化振興事業団）

※平成16年下半期から指定管理者制度を導入

※県立図書館は直営

敷地面積：62,224 m²

延床面積：46,305 m ²	—	文化会館	29,415 m ²
	—	生涯学習棟	11,763 m ²
	—	男女共同参画棟	5,127 m ²

① 文化会館

文化会館は、県の文化芸術の拠点施設として、芸術性の高い公演や個性的な事業を実施するとともに、将来の地域文化を担う人材育成をはじめ、多様な文化芸術に親しむことのできる環境づくりを行っています。

<事業の概要>

●鑑賞型事業

オペラ、バレエ、クラシックコンサートなど芸術性の高い公演や歌舞伎、文楽など日本の伝統芸能、三重県ゆかりの芸術家による公演などを実施する。

●普及型事業

気軽に楽しめるワンコインコンサートなどの公演や三重ジュニア管弦楽団育成事業・舞台創造講習会などの人材育成事業を実施するとともに、県内の文化施設や学校等に出向いて出張コンサートやワークショップなどアウトリーチ事業を実施する。

●参加型事業

演劇などの分野で企画・創造型事業を実施するほか、みえ文化芸術祭（みえ県民文化祭、みえ県展、みえ音楽コンクール）を実施し、県民の文化芸術活動の発表の場を提供する。

② 生涯学習センター

生涯学習センターは、県における総合的な生涯学習拠点として、県民の学習ニーズを把握しながら県民・市町・高等教育機関などと協働して事業を実施しています。

<事業の概要>

●生涯学習機会提供事業

県内の高等教育機関、各種団体、ボランティアとの協働により、移動講座も含めた多様な学習機会を提供する（「アカデミックセミナー」「まなびいすとセミナー」など）。

●みえ生涯学習ネットワーク事業

生涯学習に関わる個人・団体等の交流、情報発信を行うことにより、互いに学びあい成長しあえる環境を整備し、生涯学習の振興を図る。

●生涯学習情報提供事業

生涯学習情報提供システムの適正な維持管理及び最新情報の収集・更新に努めるとともに、定期的な情報誌の発行等により多様化する学習ニーズに対応した幅広い生涯学習情報の提供を行う。

●視聴覚ライブラリー管理運営事業

視聴覚コーナーや視聴覚教材の貸し出しなど三重県視聴覚ライブラリーの適正な運営を行うとともに、視聴覚教材を活用した各種上映会を行う。

三重県総合文化センター	H20	H21	H22	H23	H24
入館者数（人）	650,598	781,159	710,159	734,883	642,669
うち、文化会館	479,503	587,100	530,780	555,997	494,245
うち、生涯学習センター	59,232	66,508	61,440	62,235	60,079
うち、男女共同参画センター	111,863	127,551	118,429	116,651	118,345
施設全体稼働率（%）	75.2	79.7	78.0	79.6	81.1

③ 県立図書館

県立図書館は、生涯学習の中核的な施設として、県民の学習活動を支援しています。また、県民に役立ち、満足される蔵書の一層の充実と資料・情報の創造的な活用を図るとともに、市町立図書館などと連携し、県立・市町立図書館の蔵書を県民共有の知的財産と位置づけ、だれでも、どこからでも蔵書を利用できる環境を整備しています。

<事業の概要>

●学びの拠点活用支援事業

市町立図書館や県立学校図書館との連携を強化するとともに、三重県に関する資料や情報を積極的に収集及び提供する知識と情報の拠点として、人づくりや地域づくりのあらゆる場面で県民の活動を支援する。

●三重県図書館情報ネットワーク（M I L A I）

県内図書館・図書室の蔵書がインターネット上で検索できるシステムであり、図書館間での資料の借り受け（相互貸借）にも利用されている。

●オンライン予約配送サービス（e-Booking）

県立図書館の蔵書をインターネットにより、24時間365日いつでも貸出予約申込、受取施設の指定ができるサービスを行っている。

県立図書館	H20	H21	H22	H23	H24
入館者数（人）	345,187	344,264	338,632	323,132	325,867
レファレンスサービス（件）	6,107	6,563	6,763	6,337	6,524
貸出冊数（冊）	336,276	342,841	324,772	327,489	353,287

2 県立美術館

県立美術館は、本県の美術・文化芸術の振興拠点として、美術資料の「収集・保管・展示」という三つの基本的な活動を核とし、文化・教育関係機関等多様な主体と連携しながら、展覧会や教育普及活動を展開しています。

設置年：昭和57年（平成15年リニューアル開館）

所在地：津市大谷町（津駅西口からバスで約2分）

運営主体：三重県

敷地面積：24,403.80 m²

延床面積：10,665.88 m²

主な収蔵作品：ムリーリョ「アレクサンドリアの聖カタリナ」、シャガール「枝」、
佐伯祐三「サンタンヌ協会」、曾我蕭白「旧永島家襖絵」（重要文化財）

23年度企画展：「堀文子展」、「藤島武二・岡田三郎助展」、「イケムラケイコ展」

24年度企画展：開館30周年記念「蕭白ショック！！ 曾我蕭白と京の画家たち」、
同「KATAGAMI Style 世界が恋した日本のデザイン」

<事業の概要>

●展覧会推進事業

県民が気軽に美術館を訪れ、国内外の多彩な美術作品を鑑賞できる企画展覧会を開催するとともに収集所蔵作品による常設展を開催する。

●研究活動推進事業

美術館活動と関連した調査研究を継続的に実施し、その成果を展覧会の企画に繋げるとともに、展覧会図録や新聞・美術雑誌・講演等での発表、その他関係機関への助言・指導等の形で公表する。

●教育活動推進事業

来館者対象活動として、美術講演会やギャラリートーク、ワークショップ等の参加体験型教育活動を行うとともに、県内外での広報活動を行う。

県立美術館	H20	H21	H22	H23	H24
入館者数（人）	157,029	159,863	121,582	124,767	174,994
収蔵品保有数（寄託除く）	4,815	4,873	4,882	4,997	5,062

3 県立博物館

県立博物館は、昭和28年6月、偕楽公園（津市）内に開館した東海地方初の総合博物館（自然・歴史）であり、展示・教育普及・調査活動を通し、本県の自然と歴史・文化に対する関心を深めるとともに、県民の生活向上と文化の発展に努めてきました。（建物の老朽化問題などのため、平成19年10月から展示室を閉鎖中）

現在、津市一身田上津部田地内（三重県総合文化センター隣接地）に平成26年春の開館に向けて、「ともに考え、活動し、成長する博物館」を活動理念とする新県立博物館の整備を進めています。

〔現在の県立博物館〕

所在地：津市広明町

敷地面積：3,520.65㎡及び60.5㎡（借地）

延床面積：本館 660.48㎡、附属建物 395.29㎡、収蔵庫・事務室（旧図書館）
2,120.42㎡

〔新県立博物館〕

所在地：津市一身田上津部田（三重県総合文化センター隣接地）

敷地面積：37,793㎡

延床面積：10,779㎡（外部通路等を除く）

収蔵資料総数：281,339点（H21.3現在）

（自然関係：260,771点、人文関係：20,628点）

主な収蔵資料

<地学の部>トバリユウ（鳥羽市産恐竜）化石、ミエゾウ・アケボノゾウ化石

<動物の部>日本カモシカセンター寄贈資料、大川氏昆虫コレクション

<植物の部>山内氏 さく葉標本コレクション、オニバス（樹脂封入標本：桑名市多度町産）

<考古資料の部>鳥井古墳出土押出仏（県指定有形文化財）

<美術工芸の部>絹本着色羅漢図（県指定有形文化財）、浮世絵 駿河町呉服屋図
歌川豊春、浮世絵 保永堂版東海道五十三次の内 庄野

<歴史資料の部>紙本墨書古文書（県指定有形文化財）、北条義時書状

<民俗資料の部>生産成業 伊勢型紙、伊勢型紙浴衣・手ぬぐい図案

4 齋宮歴史博物館

齋宮歴史博物館は、国史跡齋宮跡の調査と保護を目的に開館した博物館であり、我が国の歴史・文化の中で特異な地位を占めてきた齋宮と、その背景となった本県の歴史に関する資料を収集・保管し、調査・研究や展示・公開などの事業を行っています。

設置年：平成元年

所在地：多気郡明和町

運営主体：三重県

敷地面積：18,000 m²

延床面積：5,077 m²

<事業の概要>

●齋宮展示公開事業

齋宮研究の成果をふまえた展示・普及活動を推進し、国史跡齋宮跡に対する理解と利用を幅広く喚起する。

●歴史体験事業

いつきのみや歴史体験館¹で歴史と地域文化の体験を通じ、平安文化及び地域伝統文化への理解を促進する。

●こころのふるさと齋宮づくり事業

平安時代を体感できる建物等の整備として、史跡東部の整備対象地である「寮庁」推定地及び周辺部分（柳原、下園東、牛葉東・西区画：対象面積約 27,500 m²）で3棟の復元建物整備・区画道路整備のほか、史跡全体を活用するための回遊路として古代伊勢道（対象面積約 5,000 m²）を整備する。

齋宮歴史博物館	H20	H21	H22	H23	H24
入館者数（人）	59,678	50,131	54,411	50,285	53,557
いつきのみや歴史体験館	24,934	27,336	29,425	25,885	29,473

¹ 「史跡齋宮跡」の保存活用・整備の一環として、文化庁の補助を受けて平成11年に開館（運営主体は公益財団法人国史跡齋宮跡保存協会）。施設内では、齋宮が最も栄えた平安時代を中心に、歴史や文化を身近に体験・学習できる事業を実施している。